

【対策のポイント】

- 昭和30年代に整備された10a程度の区画の地域においては、その後、相対で集積が進み、担い手の経営農地が分散。
- 農地耕作改善改善事業による地域のニーズに応じたきめ細かな基盤整備により農地の大区画化や汎用化とともに、担い手に農地を集積。

基盤

簡易な整備による耕作条件の改善

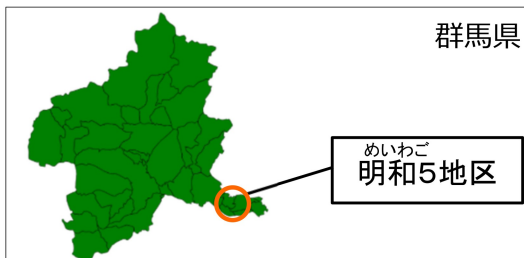
- 事業実施前は、平均区画10aの狭小な農地のため作業効率が悪く、耕作条件の改善が必要。
- 地区全体が均平であるため、畦畔除去等の簡易整備により区画拡大を行い、耕作条件を改善。



【取組地域の概要】

- 位置
おうらくんめいわまち
群馬県邑楽郡明和町

群馬県

めいわご
明和5地区

集積・集約

- 事業名
農地耕作条件改善事業（H29）
- 主要作物
水稻、麦
- 受益面積 3.83ha
- 主要工事
区画拡大：3.83ha

農地集積の拡大

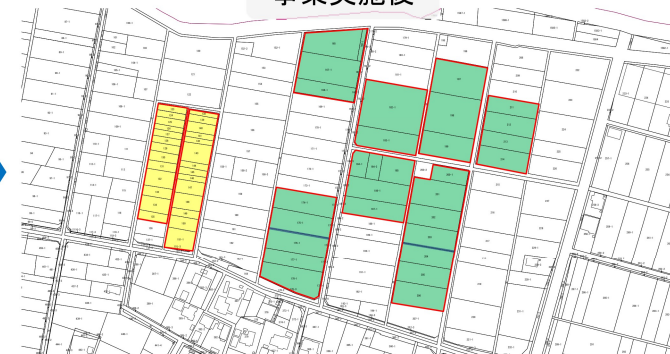
- 経営体：3戸
うち
- ・ 経営体（＝担い手）：中心経営体 3法人
 - ・ 集積面積：1.61ha（集積率 42%）

- ・ 経営体（＝担い手）：中心経営体2法人
- ・ 集積面積：3.83ha（集積率 100%）

事業実施前



事業実施後



対策の効果

事業取組の波及による近隣地区の農地集積の拡大

- 本地区の実施を契機に、近隣の他地区でも農地集積を進めたいとの声が上がリ、平成27年度から令和元年度までに、毎年、本事業を活用して農地集積を促進（5か年で、区画拡大4地区、道路・水路整備3地区）